

プレセミナー

科目ナンバリング SEM-201
必修 2単位

佐藤 伴近

1. 授業の概要(ねらい)

チャールズ・ワディ作『ウォレス、またはスターリング橋の戦い』(1898年)の台本を翻訳し、演目に込められたスコットランド・ナショナリズムについて考える。

2. 授業の到達目標

台本の翻訳を通して、演目に現れるスコットランド・ナショナリズムの特徴を理解し、説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

担当する回に報告をする(50%)。学期末レポート(50%)。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しない。

5. 準備学修の内容

割り当てられた範囲に事前に訳をつける。

6. その他履修上の注意事項

報告を担当していない回であっても、議論に積極的に参加する。

7. 授業内容

- 【第1回】 ACT III- Scene I
- 【第2回】 ACT III- Scene II
- 【第3回】 ACT III- Scene III
- 【第4回】 ACT III- Scene IV
- 【第5回】 ACT IV- Scene I
- 【第6回】 ACT IV- Scene II
- 【第7回】 ACT IV- Scene III
- 【第8回】 ACT IV- Scene IV・V
- 【第9回】 ACT V- Scene I・II
- 【第10回】 ACT V- Scene II
- 【第11回】 ACT V- Scene III・IV
- 【第12回】 ACT V- Scene V
- 【第13回】 ACT V- Scene V・VI
- 【第14回】 PREFACE
- 【第15回】 まとめ・総括